

2014年3月期 第2四半期決算説明会



京成電鉄株式会社
東証第一部 コード:9009

SKYLINER
LIMITED EXPRESS

目次

- | | |
|------------------------|-----|
| 1. 経営概況、当社の取り組み | P1 |
| 2. 2014年3月期 第2四半期決算の概要 | P17 |
| 3. 2014年3月期 業績予想の概要 | P25 |
| 4. 連結業績の推移 | P31 |
| 5. 参考資料 | P34 |

1. 経営概況、当社の取り組み

1

通期業績予想

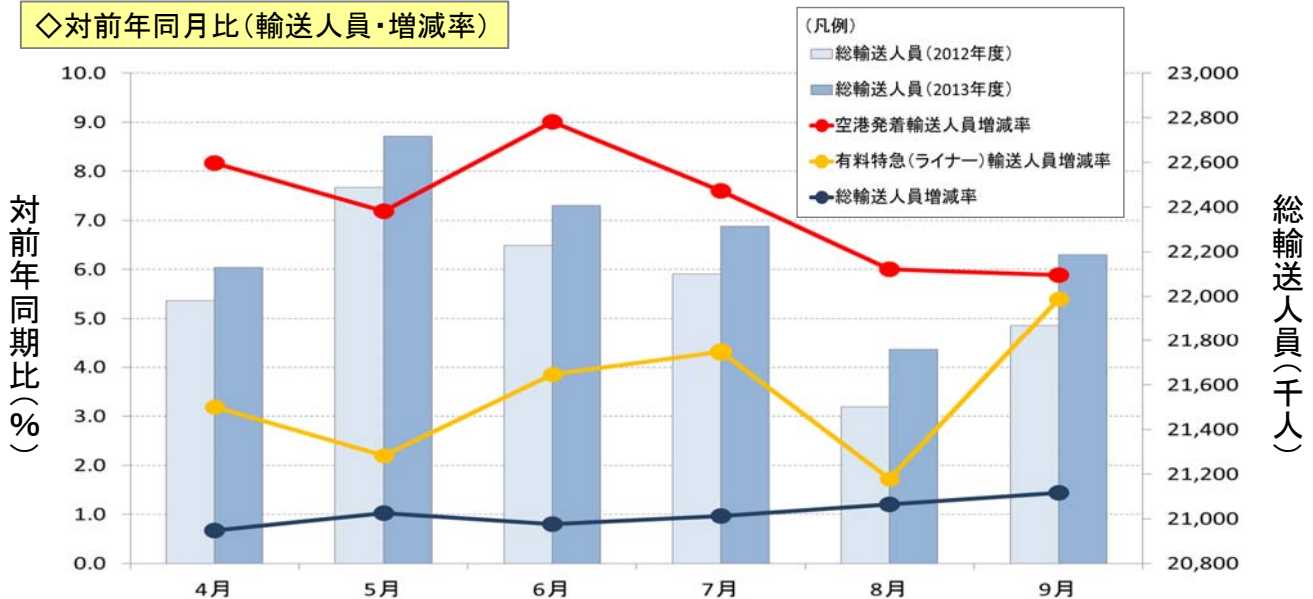
	2014年3月期 今回予想	2014年3月期 当初予想	増減	増減率	2016年3月期 E2プラン目標
営業収益	2,456億円	2,482億円	△26億円	△1.0%	—
営業利益 (営業利益率)	233億円 (9.5%)	230億円 (9.3%)	3億円 (—)	1.3% (—)	230億円以上 (9.5%以上)
経常利益	345億円	306億円	39億円	12.7%	310億円以上
当期純利益	256億円	207億円	49億円	23.7%	—
有利子負債残高 (EBITDA倍率)	3,738億円 (8.3倍)	3,765億円 (8.4倍)	△27億円 (—)	△0.8% (—)	3,550億円以下 (7.7倍以下)

※有利子負債残高にはリース債務を含む

※EBITDA倍率＝有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

2

◇対前年同月比(輸送人員・増減率)



- ・空港発着輸送人員は、LCC国内線の旅客増などにより好調に推移
- ・有料特急(ライナー)輸送人員の内、スカイライナー輸送人員は、2011年12月以降、22か月連続で対前年同期比増。また、本年8月のスカイライナー輸送人員は、成田スカイアクセス開業以来最高
- ・総輸送人員は、上記の要因に加え、酒々井プレミアム・アウトレットや東京理科大学葛飾キャンパスの開校等により、定期・定期外共に好調に推移

3

当社鉄道輸送人員・旅客運輸収入(1)

輸送人員・旅客運輸収入

第2四半期実績(対前年同期比、対当初予想比)

(単位:千人、百万円)

	2014年3月期 第2四半期	対前年同期比		対当初予想比			
		増減	増減率	増減	増減率		
輸送人員	133,514	132,170	1,344	1.0%	132,788	726	0.5%
定期	78,691	77,994	697	0.9%	78,172	519	0.7%
定期外	54,823	54,176	647	1.2%	54,616	207	0.4%
旅客運輸収入	28,045	27,421	623	2.3%	27,852	193	0.7%
定期	9,877	9,831	46	0.5%	9,812	65	0.7%
定期外	18,168	17,590	578	3.3%	18,040	127	0.7%

輸送人員は千人未満を四捨五入して表示しております
旅客運輸収入は百万円未満を切り捨てて表示しております

当社鉄道輸送人員・旅客運輸収入(2)



空港発着

第2四半期実績(対前年同期比、対当初予想比)

(単位:千人、百万円)

	2014年3月期 第2四半期	対前年同期比			対当初予想比		
			増減	増減率		増減	増減率
輸送人員	8,135	7,587	548	7.2%	7,956	179	2.2%
旅客運輸収入	7,362	6,781	580	8.6%	7,217	144	2.0%

- ・輸送人員全体に占める空港発着輸送人員の割合は 6.1%(前年同期比+0.4pt)
- ・旅客運輸収入全体に占める空港発着旅客運輸収入の割合は 26.3%(前年同期比+1.6pt)

有料特急

第2四半期実績(対前年同期比、対当初予想比)

(単位:千人、百万円)

	2014年3月期 第2四半期	対前年同期比			対当初予想比		
			増減	増減率		増減	増減率
輸送人員	2,138	2,067	71	3.4%	2,154	△16	△0.7%
料金収入	2,055	1,971	84	4.3%	2,077	△21	△1.0%

- 輸送人員は千人未満を四捨五入して表示しております
旅客運輸収入及び特急料金収入は百万円未満を切り捨てて表示しております

5

当社鉄道輸送人員・旅客運輸収入(3)



輸送人員・旅客運輸収入

通期予想(対前期比、対当初予想比)

(単位:千人、百万円)

	2014年3月期 通期予想	対前期比			対当初予想比		
			増減	増減率		増減	増減率
輸送人員	263,782	261,200	2,582	1.0%	262,528	1,254	0.5%
定期	153,909	152,047	1,862	1.2%	153,025	884	0.6%
定期外	109,873	109,153	720	0.7%	109,503	370	0.3%
旅客運輸収入	55,665	54,811	854	1.6%	55,278	387	0.7%
定期	19,483	19,317	166	0.9%	19,365	119	0.6%
定期外	36,182	35,493	688	1.9%	35,913	270	0.8%

- 輸送人員は千人未満を四捨五入して表示しております
旅客運輸収入は百万円未満を切り捨てて表示しております

6

空港発着

通期予想(対前期比、対当初予想比)

(単位:千人、百万円)

	2014年3月期 通期予想	対前期比			対当初予想比		
			増減	増減率		増減	増減率
輸送人員	16,118	15,319	799	5.2%	15,774	344	2.2%
旅客運輸収入	14,452	13,695	755	5.5%	14,121	331	2.3%

- ・輸送人員全体に占める空港発着輸送人員の割合は 6.1% (前年同期比+0.2pt)
- ・旅客運輸収入全体に占める空港発着旅客運輸収入の割合は 26.0% (前年同期比+1.0pt)

有料特急

通期予想(対前期比、対当初予想比)

(単位:千人、百万円)

	2014年3月期 通期予想	対前期比			対当初予想比		
			増減	増減率		増減	増減率
輸送人員	4,141	4,082	59	1.4%	4,179	△38	△0.9%
料金収入	3,967	3,895	71	1.8%	3,997	△29	△0.7%

輸送人員は千人未満を四捨五入して表示しております
旅客運輸収入及び特急料金収入は百万円未満を切り捨てて表示しております

中期経営計画の遂行状況(1) 運輸業

成田スカイアクセスの利便性・認知度向上

◇スカイライナーチケット購入手段の拡充

- ・2013年9月、乗換検索サイト(4社)の経路検索結果からダイレクトにスカイライナーチケットを購入可能
- ・乗換検索サイトと列車予約が連動する初のサービス

◇10月26日ダイヤ一部変更により利便性を向上

(1) 都心方面へ向かう最終のスカイライナーの時刻繰り下げ

(変更前) 成田空港 8時17分発(始発)～22時18分発(最終)

(**変更後**) 成田空港 8時17分発(始発)～**22時30分**発(最終)

従来より、成田空港発を**12分**繰り下げて出発

(2) 都営浅草線内エアポート快特となる「快速特急」を設定

(上り) 京成成田から日本橋間で**4分(75分→71分)**、羽田空港間で**13分(119分→106分)**短縮

(下り) 羽田空港から京成成田間で**7分(112分→105分)**短縮

(3) 夕方ラッシュ時間帯に成田方面へ向かう「快速特急」を増発

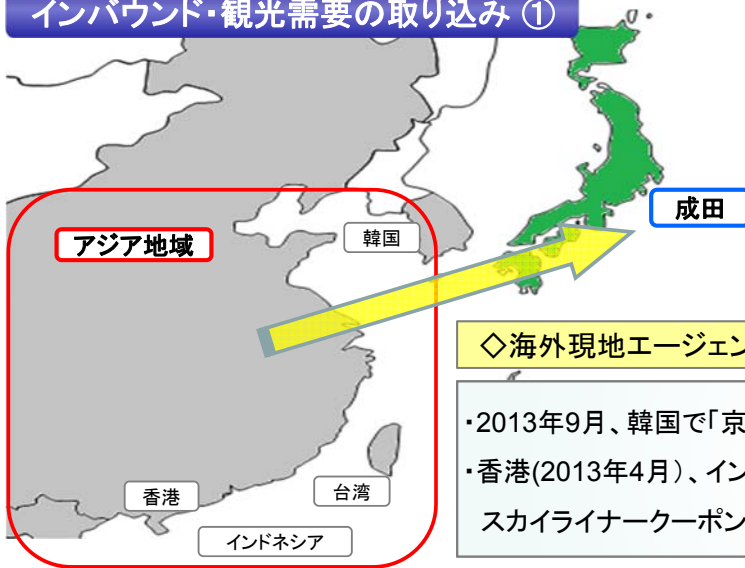
従来
駅窓口・当社webサイト

新規



中期経営計画の遂行状況(2) 運輸業

インバウンド・観光需要の取り込み ①



スカイライナー&メトロパス

◇海外現地エージェントへの営業強化

- ・2013年9月、韓国で「京成スカイライナー&メトロパス」を販売開始
- ・香港(2013年4月)、インドネシア(同年8月)の旅行会社と提携し、スカイライナークーポンを販売開始(韓国・台湾ではすでに実施)

◇観光タクシーの運行開始

- ・2013年10月、「酒蔵めぐり観光タクシー」を運行開始
- 成田空港から、成田周辺の酒蔵に立ち寄りながら観光スポットを巡るルート等を設定



中期経営計画の遂行状況(3) 運輸業

インバウンド・観光需要の取り込み ②

◇LCC国内線利用旅客への営業強化

【利用促進キャンペーンの実施】

- ・2013年10月、「成田国際空港—関西国際空港」の就航記念キャンペーンを実施
- (当社、南海電鉄、Peach Aviation、成田国際空港の4社共同)



【企画乗車券の機内販売】

- ・2013年10月、LCC国内線「Peach」の機内で「京成スカイライナー&メトロパス」を販売開始
- 首都圏以外からの国内旅行者を誘客

◇南海電鉄の沿線情報誌とコラボレーション

沿線の「イイとこ」ディスカバリー



- ・当社と南海電鉄相互の旅客誘致を図るため、共同で「飛行機&鉄道を利用した旅」を提案
- 当社の沿線情報誌「京成らいん」(11月号)で、南海沿線の大阪ミナミ界隈を紹介
- 南海電鉄の沿線情報誌「NATTS」(11月号)で、当社沿線の成田エリア・下町エリアを紹介

中期経営計画の遂行状況(4) 運輸業

安全・安心への取り組み

◇墨田区内連続立体化推進

- ・連続立体化工事を推進中
 - 2013年8月 上り線高架化完了
- ・事業区間内8箇所の踏切を廃止



京成曳舟駅高架化完成予想図



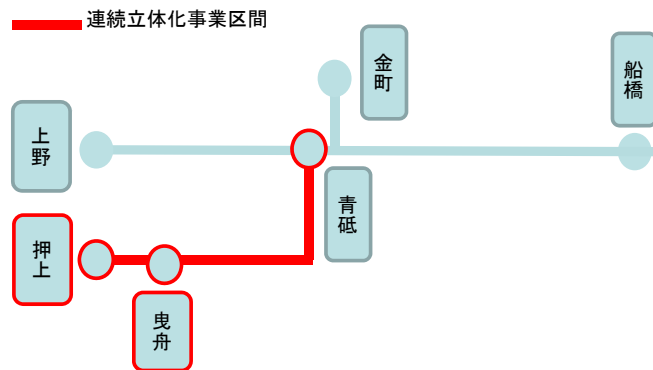
高架化された曳舟駅上り線

◇葛飾区内連続立体化推進

- ・用地買収並びに調査を実施中
- ・事業区間内11箇所の踏切を廃止

◇高架下の有効活用

- ・曳舟駅付近の高架下敷地の有効活用を検討



中期経営計画の遂行状況(5) 運輸業

成田空港輸送の収益力強化

◇東京シャトル(片道運賃900円)の増便

※予約なしで、東京駅発の早朝深夜便に乗車する際の料金は1,500円

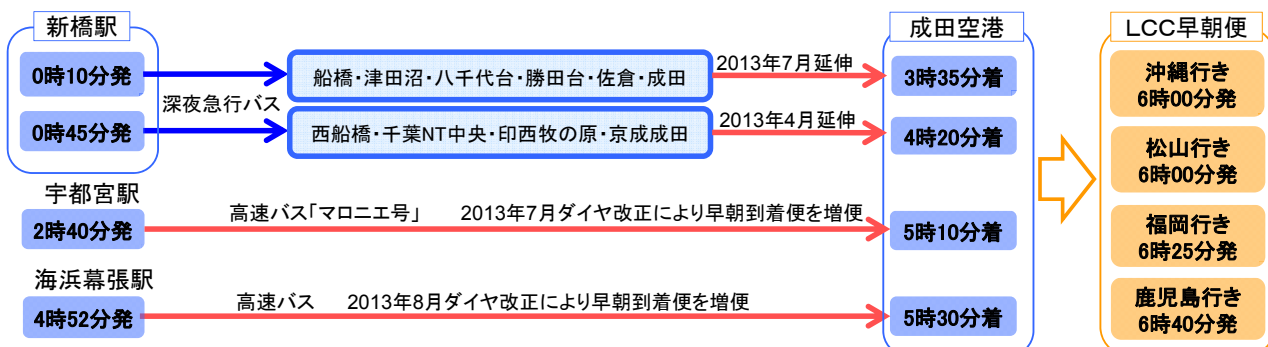


【東京シャトルの便数の変化】

時期	便数(1日)	サービスの変更点等
2012. 7月～	30便	東雲車庫・東京駅～成田空港間で運行開始 同年8月 34便、9月 42便に増便
2013. 3月～	65便	東京発の深夜早朝便を2便から4便に増便
2013. 4月～	65便	東京シャトル&メトロパス[1,400円]を発売開始 (成田空港片道運賃+東京メトロ一日乗車券)
2013. 8月～	65便	開業以来のお客様が累計50万人を達成
2013. 9月～	80便	東京発の深夜早朝便を4便から5便に増便

◇LCC早朝便への対応強化

- ・深夜急行バスの路線延伸や、高速バスの増便により、LCCの早朝便への対応を強化



中期経営計画の遂行状況(6) 運輸業

京成エリアにおける収益力強化 ①

◇酒々井プレミアム・アウトレットへの対応



・2013年4月、「酒々井プレミアム・アウトレット」オープンに合わせ路線を新設・改編し、新たな需要に対応

◇成田空港・TDR線の増便、回数券発売

- ・2013年10月、LCC国内線の成田空港到着ピーク時にあわせ「東京ディズニーリゾート行き」を増便
 - 11時から15時台は、1時間に1便の運行体制
- ・2014年3月迄の期間限定で8枚綴りの回数券を発売(通常運賃2,400円→回数券利用で2,000円)

◇京成バス10周年イベントの実施

- ・2013年10月、京成バス10周年感謝フェスティバルを開催
 - 週末に乗り放題となる記念乗車券を発売
 - 京成バスグッズの販売やスタンプラリーを開催



中期経営計画の遂行状況(7) 運輸業

京成エリアにおける収益力強化 ②

◇スマートフォンによるタクシー配車サービス

- ・2013年6月、無料アプリによる配車サービスを開始
 - 都内の帝都自動車交通グループ939両(提携会社7社・405両を含む)、千葉県内グループ11社・601両の配車が可能



◇無線配車業務の統合

- ・「京成グループタクシー無線センター」を新設
 - 無線 配車業務を集約効率化
- ・東葛・京葉・千葉エリアで、GPSによる配車サービスを開始
 - お客様に迅速な配車サービスを提供



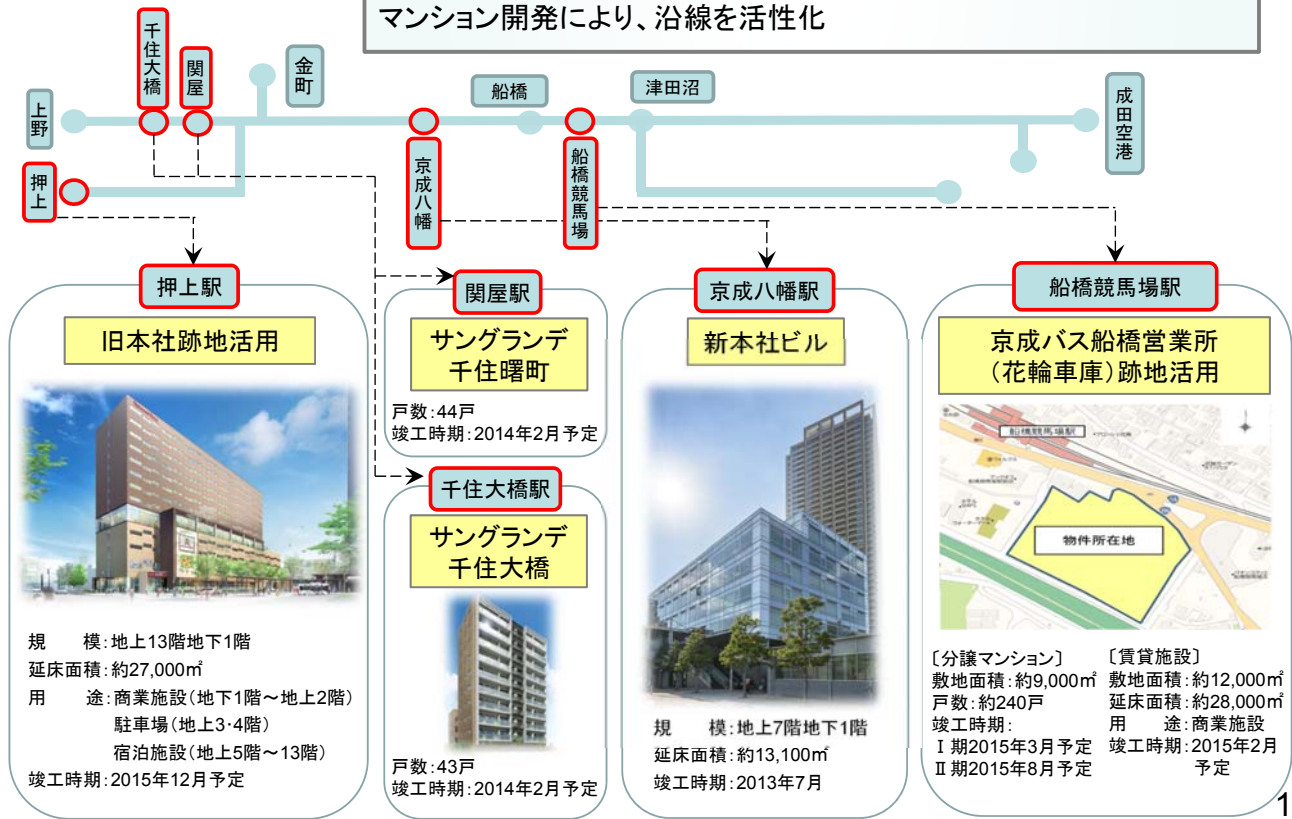
◇『京成』統一呼称の導入予定

- ・千葉県内のタクシーに統一呼称「京成グループタクシー」を表記
 - 当社グループ全体で他社との差別化を図り、営業力を強化
- ・千葉県内のタクシーの車体カラー・行燈・車両表示を統一
 - グループ内の車両仕様を統一することでコストを削減



京成エリアの開発

グループ会社資産の有効活用により、賃貸資産の拡充を図ると共に、マンション開発により、沿線を活性化



中期経営計画の遂行状況(9) その他

多様化したお客様ニーズへの対応

◇筑波山ケーブルカー・ロープウェイの夜間運行

- ・2013年11月、ケーブルカー・ロープウェイの夜間運行を開始
ーライトアップした筑波山の紅葉や、東京スカイツリーなど都心の夜景を楽しむお客様向けに期間限定で対応



◇バラ園共通チケットの販売

- ・2013年5月、当社沿線の京成バラ園、谷津バラ園、草ぶえの丘バラ園の共通チケットを販売(同年6月9日迄)
ー世界的バラの育種家で、京成バラ園芸初代所長である「故鈴木省三氏」の生誕100周年を記念



◇コンビニエンスストアの展開

- ・2013年7月、「ファミリーマート京成八幡駅前店」、同年9月に「ファミリーマート町屋店」をオープン
ーコミュニティ京成が運営する「ファミリーマート」店舗数は21店舗体制
- ・当社線駅構内で展開する売店のコンビニストア化を検討

2. 2014年3月期 第2四半期決算の概要

17

2. 2014年3月期第2四半期決算の概要(1)

■ 第2四半期の業績(前年同期比較)

(単位:百万円、%)

	2014年3月期 第2四半期	2013年3月期 第2四半期	増減	増減率
営業収益	119,716	117,941	1,775	1.5
営業利益	13,197	12,026	1,171	9.7
(営業利益率)	11.0	10.2	—	—
経常利益	19,837	15,830	4,006	25.3
うち持分法投資利益	8,384	5,886	2,497	42.4
四半期純利益	16,555	11,738	4,817	41.0

18

2. 2014年3月期第2四半期決算の概要(2)

■ 営業収益(セグメント別)

(単位: 百万円、%)

	2014年3月期 第2四半期	2013年3月期 第2四半期	増減	増減率	差異内訳
運輸業	67,360	66,119	1,241	1.9	空港輸送の増
流通業	36,228	36,538	△ 309	△ 0.8	
不動産業	8,691	8,134	557	6.8	販売戸数の増
レジャー・サービス業	4,953	5,065	△ 111	△ 2.2	
建設業	8,048	7,012	1,035	14.8	完成工事高の増
その他の事業	1,523	1,894	△ 370	△ 19.5	
計	126,806	124,764	2,042	1.6	
消去又は全社	△ 7,090	△ 6,822	△ 267	—	
連結	119,716	117,941	1,775	1.5	

19

2. 2014年3月期第2四半期決算の概要(3)

■ 営業収益(主なセグメントの内訳)

(単位: 百万円、%)

	2014年3月期 第2四半期	2013年3月期 第2四半期	増減	増減率	差異内訳
鉄道事業	36,065	35,299	766	2.2	空港輸送の増
バス事業	20,563	20,102	461	2.3	〃
タクシー事業	10,731	10,717	14	0.1	
運輸業計	67,360	66,119	1,241	1.9	
ストア業	19,404	19,861	△ 456	△ 2.3	店舗閉鎖等による減
百貨店業	13,440	13,389	51	0.4	
その他	3,383	3,288	95	2.9	
流通業計	36,228	36,538	△ 309	△ 0.8	
不動産販売業	2,695	2,353	342	14.5	販売戸数の増
不動産賃貸業	4,361	4,332	28	0.7	
不動産管理業	1,634	1,448	186	12.9	
不動産業計	8,691	8,134	557	6.8	

20

2. 2014年3月期第2四半期決算の概要(4)

営業利益(セグメント別)

(単位:百万円、%)

	2014年3月期 第2四半期	2013年3月期 第2四半期	増減	増減率	差異内訳
運輸業	10,536	10,113	423	4.2	増収の影響
流通業	623	650	△ 27	△ 4.2	
不動産業	2,031	1,050	980	93.3	前期 分譲土地建物評価損
レジャー・サービス業	26	128	△ 101	△ 79.1	
建設業	△ 58	14	△ 72	—	
その他の事業	△ 34	△ 5	△ 29	—	
計	13,125	11,951	1,173	9.8	
消去又は全社	72	74	△ 2	△ 2.9	
連結	13,197	12,026	1,171	9.7	

21

2. 2014年3月期第2四半期決算の概要(5)

営業利益(主なセグメントの内訳)

(単位:百万円、%)

	2014年3月期 第2四半期	2013年3月期 第2四半期	増減	増減率	差異内訳
鉄道事業	7,891	7,561	330	4.4	増収の影響
バス事業	2,284	2,049	235	11.5	〃
タクシー事業	360	502	△ 142	△ 28.3	
運輸業計	10,536	10,113	423	4.2	
ストア業	228	164	64	39.5	人件費等の削減
百貨店業	113	160	△ 47	△ 29.3	
その他	280	325	△ 44	△ 13.8	
流通業計	623	650	△ 27	△ 4.2	
不動産販売業	△ 134	△ 1,060	926	—	前期 分譲土地建物評価損
不動産賃貸業	2,094	2,063	31	1.5	
不動産管理業	71	48	23	48.3	
不動産業計	2,031	1,050	980	93.3	

22

2. 2014年3月期第2四半期決算の概要(6)

■ 連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	2014年3月期 第2四半期	2013年3月期 第2四半期	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	21,807	16,338	5,468
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 7,630	△ 3,192	△ 4,437
フリー キャッシュ・フロー	14,176	13,145	1,030
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 15,714	△ 14,997	△ 717
当期キャッシュ・フロー	△ 1,537	△ 1,851	313

23

2. 2014年3月期第2四半期決算の概要(7)

■ 連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

	2014年3月期 第2四半期	2013年3月期 実績	増減	増減率	差異内訳
流動資産	84,665	87,986	△ 3,320	△ 3.8	
固定資産	657,390	653,863	3,527	0.5	
資産合計	742,223	741,982	241	0.0	
流動負債	184,794	181,862	2,931	1.6	
固定負債	325,853	345,411	△ 19,557	△ 5.7	
負債合計	510,647	527,274	△ 16,626	△ 3.2	借入金の減
自己資本	226,986	210,869	16,116	7.6	利益剰余金の増
純資産合計	231,575	214,708	16,867	7.9	
負債純資産合計	742,223	741,982	241	0.0	
自己資本比率	30.6	28.4	—	—	

24

3. 2014年3月期 業績予想

25

3. 2014年3月期 業績予想の概要(1)

■ 通期の業績予想

(単位:百万円)

	2014年3月期 今回予想	2013年3月期 実績	増減	2014年3月期 当初予想	増減
営業収益	245,600	244,059	1,540	248,200	△ 2,600
営業利益	23,300	22,984	315	23,000	300
(営業利益率)	9.5%	9.4%	—	9.3%	—
経常利益	34,500	30,602	3,897	30,600	3,900
うち持分法投資利益	15,000	11,564	3,435	11,700	3,300
当期純利益	25,600	21,973	3,626	20,700	4,900
EBITDA倍率	8.3倍	8.8倍	—	8.4倍	—

※EBITDA倍率 = 有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)
 なお、有利子負債残高にはリース債務を含みます。

※当初予想は、2013年4月30日付決算短信発表値です。

26

3. 2014年3月期 業績予想の概要(2)

■ 営業収益(セグメント別)

(単位:百万円)

	2014年3月期 今回予想	2013年3月期 実績	増減	2014年3月期 当初予想	増減
運輸業	133,700	131,886	1,813	133,300	400
流通業	72,500	73,374	△ 874	74,100	△ 1,600
不動産業	21,500	22,486	△ 986	21,400	100
レジャー・サービス業	10,400	10,381	18	10,700	△ 300
建設業	21,300	20,170	1,129	21,700	△ 400
その他の事業	5,000	5,294	△ 294	5,000	0
計	264,400	263,593	806	266,200	△ 1,800
消去又は全社	△ 18,800	△ 19,534	734	△ 18,000	△ 800
連結	245,600	244,059	1,540	248,200	△ 2,600

前期比

運輸業
不動産業
建設業

空港輸送の増
販売戸数の減
完成工事高の増

当初予想比

運輸業
流通業

空港輸送の増
ストア業における店舗閉鎖の前倒等による減

27

3. 2014年3月期 業績予想の概要(3)

■ 営業収益(主なセグメントの内訳)

(単位:百万円)

	2014年3月期 今回予想	2013年3月期 実績	増減	2014年3月期 当初予想	増減
鉄道事業	71,600	70,543	1,056	71,100	500
バス事業	40,600	39,967	632	40,300	300
タクシー事業	21,500	21,374	125	21,900	△ 400
運輸業計	133,700	131,886	1,813	133,300	400
ストア業	38,200	39,264	△ 1,064	39,600	△ 1,400
百貨店業	27,600	27,438	161	27,900	△ 300
その他	6,700	6,671	28	6,600	100
流通業計	72,500	73,374	△ 874	74,100	△ 1,600
不動産販売業	9,500	10,925	△ 1,425	9,700	△ 200
不動産賃貸業	8,800	8,693	106	8,800	0
不動産管理業	3,200	2,867	332	2,900	300
不動産業計	21,500	22,486	△ 986	21,400	100

前期比

鉄道事業
ストア業
不動産販売業

空港輸送の増
店舗閉鎖等による減
販売戸数の減

当初予想比

鉄道事業
ストア業

空港輸送の増
店舗閉鎖の前倒等による減

28

3. 2014年3月期 業績予想の概要(4)

■ 営業利益(セグメント別)

(単位:百万円)

	2014年3月期 今回予想	2013年3月期 実績	増減	2014年3月期 当初予想	増減
運輸業	16,600	16,780	△ 180	16,500	100
流通業	1,000	1,109	△ 109	1,100	△ 100
不動産業	4,400	3,814	585	3,900	500
レジャー・サービス業	200	272	△ 72	300	△ 100
建設業	600	527	72	600	0
その他の事業	200	313	△ 113	200	0
計	23,000	22,817	182	22,600	400
消去又は全社	300	167	132	400	△ 100
連結	23,300	22,984	315	23,000	300

前期比

不動産業

前期 分譲土地建物評価損

当初予想比

不動産業

土地の一括分譲等による増益

3. 2014年3月期 業績予想の概要(5)

■ 営業利益(主なセグメントの内訳)

(単位:百万円)

	2014年3月期 今回予想	2013年3月期 実績	増減	2014年3月期 当初予想	増減
鉄道事業	12,800	12,723	76	12,600	200
バス事業	3,000	3,129	△ 129	3,000	0
タクシー事業	800	927	△ 127	900	△ 100
運輸業計	16,600	16,780	△ 180	16,500	100
ストア業	500	349	150	500	0
百貨店業	200	302	△ 102	300	△ 100
その他	300	457	△ 157	300	0
流通業計	1,000	1,109	△ 109	1,100	△ 100
不動産販売業	400	△ 201	601	0	400
不動産賃貸業	3,900	3,902	△ 2	3,800	100
不動産管理業	100	113	△ 13	100	0
不動産業計	4,400	3,814	585	3,900	500

前期比

不動産販売業

前期 分譲土地建物評価損

当初予想比

不動産販売業

土地の一括分譲等による増益

4. 連結業績の推移

31

4. 連結業績の推移(1)

■ 業績の推移

(単位: 百万円)

	2010年3月期 実績	2011年3月期 実績	2012年3月期 実績	2013年3月期 実績	2014年3月期 業績予想
営業収益	242,523	237,887	230,282	244,059	245,600
運輸業	128,358	129,190	126,985	131,886	133,700
営業利益	22,219	20,411	19,922	22,984	23,300
運輸業	18,145	15,049	14,142	16,780	16,600
営業外収益	9,261	8,883	9,595	13,935	17,100
持分法投資利益	6,225	5,573	7,201	11,564	15,000
営業外費用	9,493	8,383	7,277	6,317	5,900
支払利息	7,753	7,179	6,577	5,806	5,200
経常利益	21,987	20,911	22,240	30,602	34,500
当期純利益	13,263	12,027	13,471	21,973	25,600

32

4. 連結業績の推移(2)

有利子負債残高の推移

(単位:百万円)

	2010年3月期 実績	2011年3月期 実績	2012年3月期 実績	2013年3月期 実績	2014年3月期 業績予想
借入金・社債等	407,564	396,285	384,345	369,342	349,800
リース債務	13,630	24,032	23,004	24,180	24,000
合計	421,194	420,317	407,349	393,522	373,800

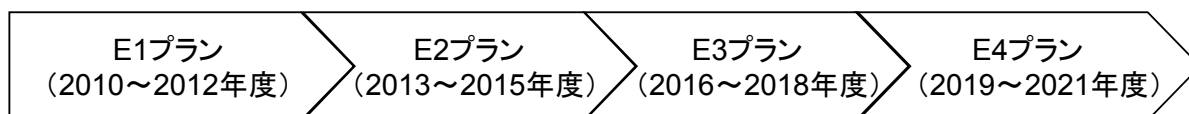
[メモ]

5. 参考資料

長期経営計画「Eプラン」の概要

名称・計画期間

長期経営計画「Evolution Plan」(=Eプラン)[2010年度～2021年度 12ヶ年]



長期経営ビジョン

グループ事業の中核である交通運輸事業の競争力・収益力を更に強化すると共に、千葉県北西部(特に京成線・新京成線・北総線沿線)並びに東京都東部を地盤として地域に密着した堅実な総合生活産業を展開し、地域経済を代表する企業グループの地位を拡充する。

長期数値目標

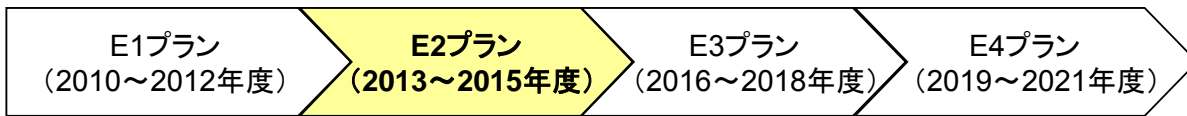
2021年度における連結決算数値

営業収益	2,800億円以上
営業利益率	10%以上
有利子負債残高	3,500億円以下
(EBITDA倍率)	7倍以下
※	

※EBITDA倍率 = 有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

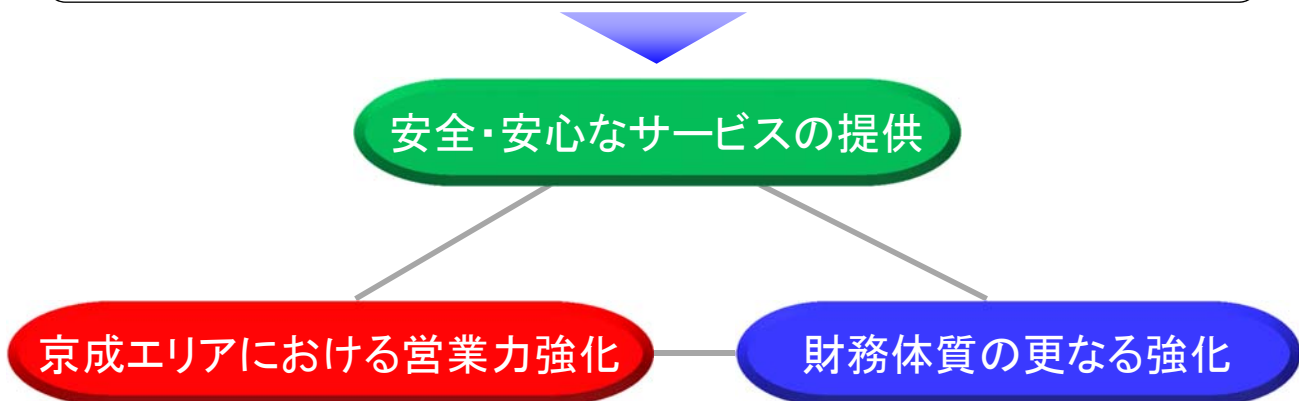
名称・計画期間

中期経営計画「E2プラン」(2013年度～2015年度 3ヶ年)



基本的な考え方

コア事業である運輸業を中心とした堅実な事業運営を推進するとともに、有利子負債の削減を進めることにより、引き続き安定した事業成長を目指す



36

基本方針

- ◎ 成田スカイアクセスの利便性・認知度の向上により、鉄道事業の競争力・収益力の強化を図る。
- ◎ コア事業(運輸業)を中心に引き続き堅実な事業運営を推進し、各事業分野において一定の事業成長を実現する。
- ◎ 将来に亘り安定的な事業成長を実現するため、賃貸資産の拡充を図るとともに、投資案件を選別し投資規模の適正化を推進する。
- ◎ 減価償却の範囲内での設備投資の実施を原則とすることで、フリーキャッシュフローを確保し、財務体質の強化を図る。
- ◎ グループ全体経営を重視し、グループシナジーの最大化を図る一方、M&Aや事業提携も視野に入れ、事業基盤の拡充を図る。
- ◎ 安全管理体制並びに、異常時・災害時におけるグループリスク管理体制の強化を図る。
- ◎ 京成グループ全体のブランド価値向上により、競争力を強化する。

37

数値目標

	2013年度(予想)	2015年度(目標)
営業利益	233億円	230億円以上
(営業利益率)	(9.5%)	(9.5%以上)
経常利益	345億円	310億円以上
有利子負債残高	3,738億円	3,550億円以下
(EBITDA倍率) ※1	(8.3倍)	(7.7倍以下)

※1 EBITDA倍率 = 有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

		2015年度 E2プラン	2012年度 実績	増減
運輸業	営業収益	1,339億円	1,319億円	+20億円
	営業利益	159億円	168億円	△9億円
流通業	営業収益	759億円	734億円	+25億円
	営業利益	12億円	11億円	+1億円
不動産業	営業収益	182億円	225億円	△43億円
	営業利益	52億円	38億円	+14億円
レジャー・サービス業	営業収益	113億円	104億円	+9億円
	営業利益	3億円	3億円	+0億円
建設業	営業収益	229億円	202億円	+27億円
	営業利益	7億円	5億円	+2億円
その他の事業	営業収益	51億円	53億円	△2億円
	営業利益	2億円	3億円	△1億円
合計 (連結修正後)	営業収益	2,480億円	2,441億円	+39億円
	営業利益	230億円	230億円	+0億円

		2015年度 E2プラン	2012年度 実績	増減
鉄道事業	営業収益	709億円	705億円	+4億円
	営業利益	118億円	127億円	△9億円
バス事業	営業収益	407億円	400億円	+7億円
	営業利益	31億円	31億円	+0億円
タクシー事業	営業収益	223億円	214億円	+9億円
	営業利益	10億円	9億円	+1億円
運輸業計	営業収益	1,339億円	1,319億円	+20億円
	営業利益	159億円	168億円	△9億円

40

連結対象会社

京成電鉄株式会社及び連結子会社48社、持分法適用関連会社6社

連結子会社(48社)

運輸業(27社)

北総鉄道(株)／千葉ニュータウン鉄道(株)／京成バス(株)／千葉交通(株)／千葉中央バス(株)／千葉海浜交通(株)／千葉内陸バス(株)／成田空港交通(株)／ちばフラワーバス(株)／ちばレインボーバス(株)／東京ベイシティ交通(株)／ちばグリーンバス(株)／京成タウンバス(株)／ちばシティバス(株)／京成トランジットバス(株)／京成バスシステム(株)／帝都自動車交通(株)／帝都自動車交通(株)(墨田G)／帝都自動車交通(株)(大森G)／市川交通自動車(株)／成田タクシー(株)／(株)千葉交タクシー／船橋交通(株)／合同タクシー(株)／西千葉タクシー(株)／かずさ交通(株)／三田下総交通(株)

流通業(5社)

(株)京成ストア／(株)コミュニティー京成／(株)水戸京成百貨店／京成バラ園芸(株)／(株)ユアエルム京成

不動産業(3社)

京成不動産(株)／京成ビルサービス(株)／京葉商事(株)

レジャー・サービス業(7社)

(株)イウォレ京成／筑波観光鉄道(株)／京成ホテル(株)／(株)千葉京成ホテル／(株)京成エージェンシー／京成ハーモニー(株)／京成トラベルサービス(株)

建設業(2社)

京成建設(株)／京成電設工業(株)

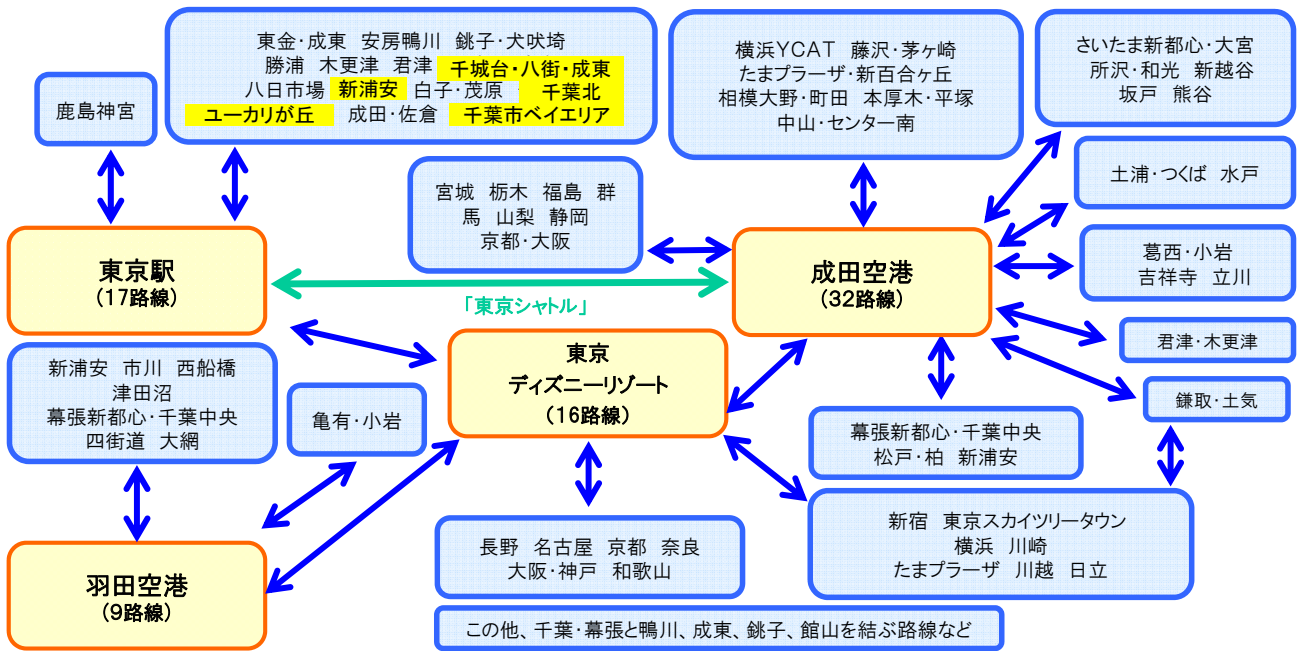
その他の事業(4社)

京成車両工業(株)／京成自動車工業(株)／(株)京成保険コンサルティング／(株)京成ドライビングスクール

持分法適用関連会社(6社)

(株)オリエンタルランド／新京成電鉄(株)／関東鉄道(株)／小湊鉄道(株)／東京空港交通(株)／成田空港高速鉄道(株)

41

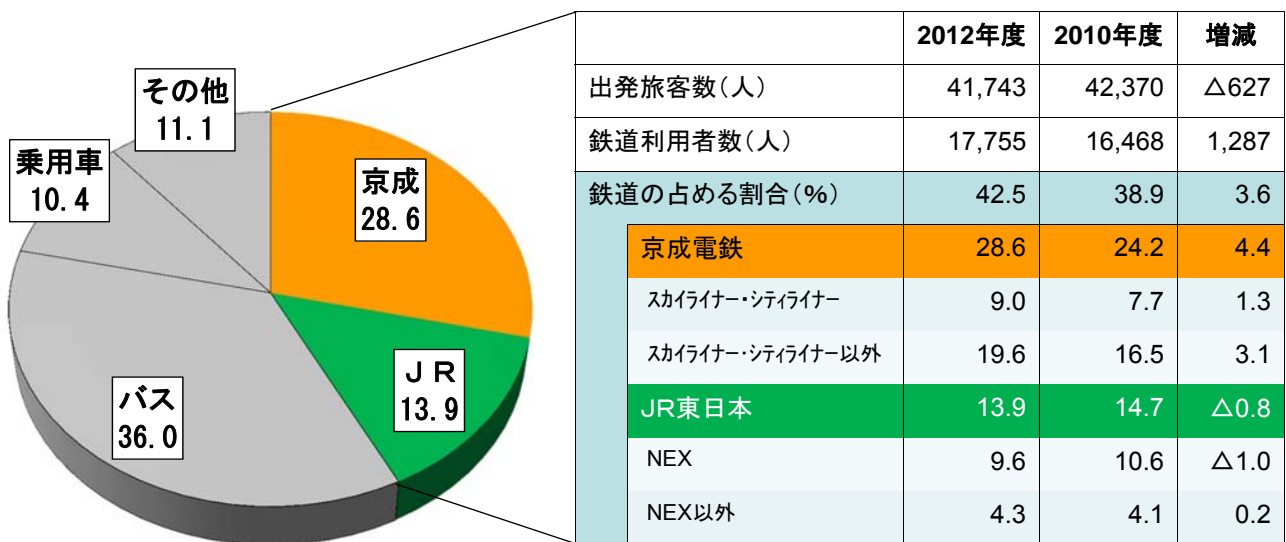


注1. 黄色背景は「マイタウン・ダイレクトバス」(いずれも東京駅発着) 注2. 路線数は、2013年9月末現在

当社グループは成田空港、東京ディズニーリゾート、東京駅、羽田空港の4拠点を中心に路線を展開

成田空港アクセス(1)




成田空港への交通アクセスシェア



調査日:
2012年3月9日(金)0時~24時(24時間)
2010年3月12日(金)0時~24時(24時間)

成田国際空港(株)が2012年7月23日にリリースした「成田国際空港交通アクセス実態調査」を元に作成

成田空港アクセス(2)

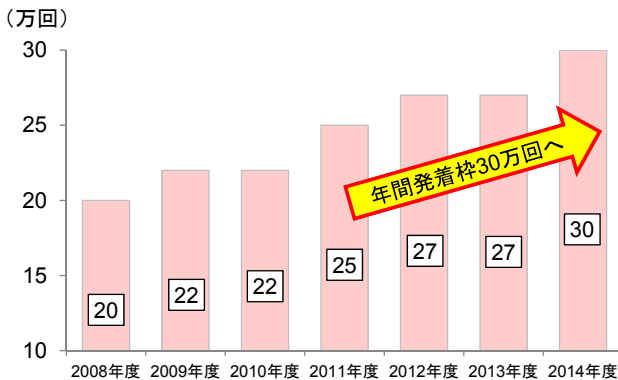
交通機関		経路	所要時分(注1)	運賃・料金
鉄道	京成 	日暮里 (成田スカイアクセス) → 第2ビル 空港	スカイライナー 36分(38分) 一般車[アクセス特急] 52分(54分)	スカイライナー 2,400円 一般車1,200円
		日暮里 (本線) → 第2ビル 空港	一般車[快特] 67分(70分)	一般車1,000円
	J R	東京 (総武・成田線・JRルート) → 第2ビル 空港	成田エクスプレス 50分(53分)	成田エクスプレス (普通)2,940円 (グリーン)4,430円 一般車 1,280円
バス	京成バス 	東京 → 第2ビル 空港	東京シャトル 60分(約70分)	900円(注2)
	リムジンバス	東京 → 第2ビル 空港	(約 80分)	3,000円

(注1) 所要時分は最速列車・バスの発駅から空港第2ビル駅まで、()内は成田空港駅までのデータ

(注2) 予約なしで、東京駅発の早朝深夜便に乗車する際の料金は1,500円

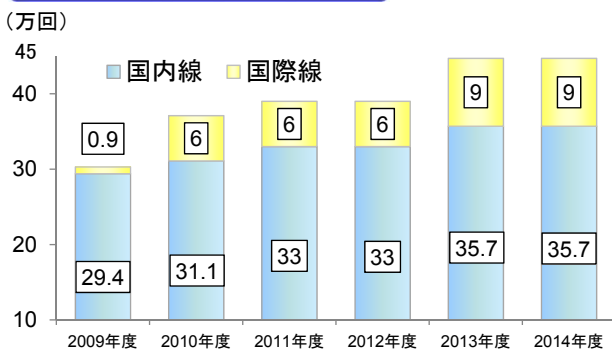
首都圏空港の発着枠

成田空港発着枠の推移

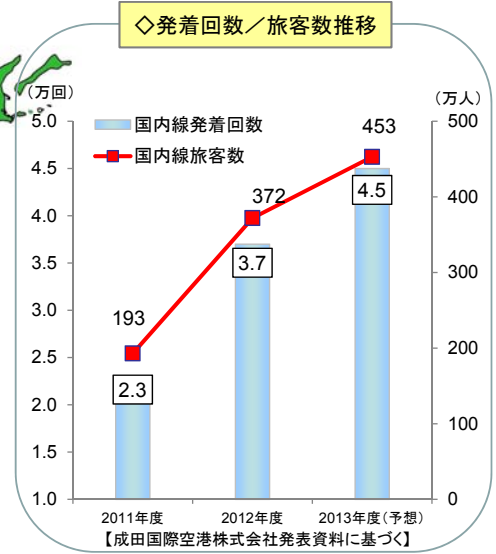
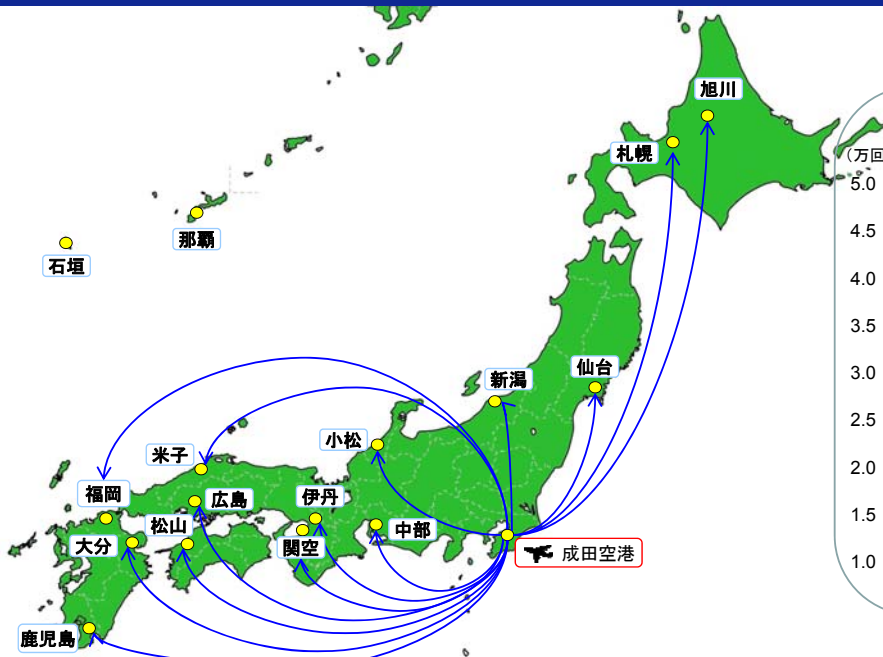


・2010年10月、「四者協議会(※)」で、「容量拡大(30万回)に係る確認書」を締結しました
 ・最速2014年度末に年間発着枠30万回へと拡大予定となっています。
 ※国・千葉県・成田空港周辺9市町・NAAで構成

羽田空港発着枠の推移



・2010年10月、国際定期便が就航しました。
 (年間発着枠: 昼間3万回、深夜早朝3万回)
 ・2013年度中に、国際線の年間発着枠が拡大予定
 (年間発着枠: 昼間6万回、深夜早朝3万回)



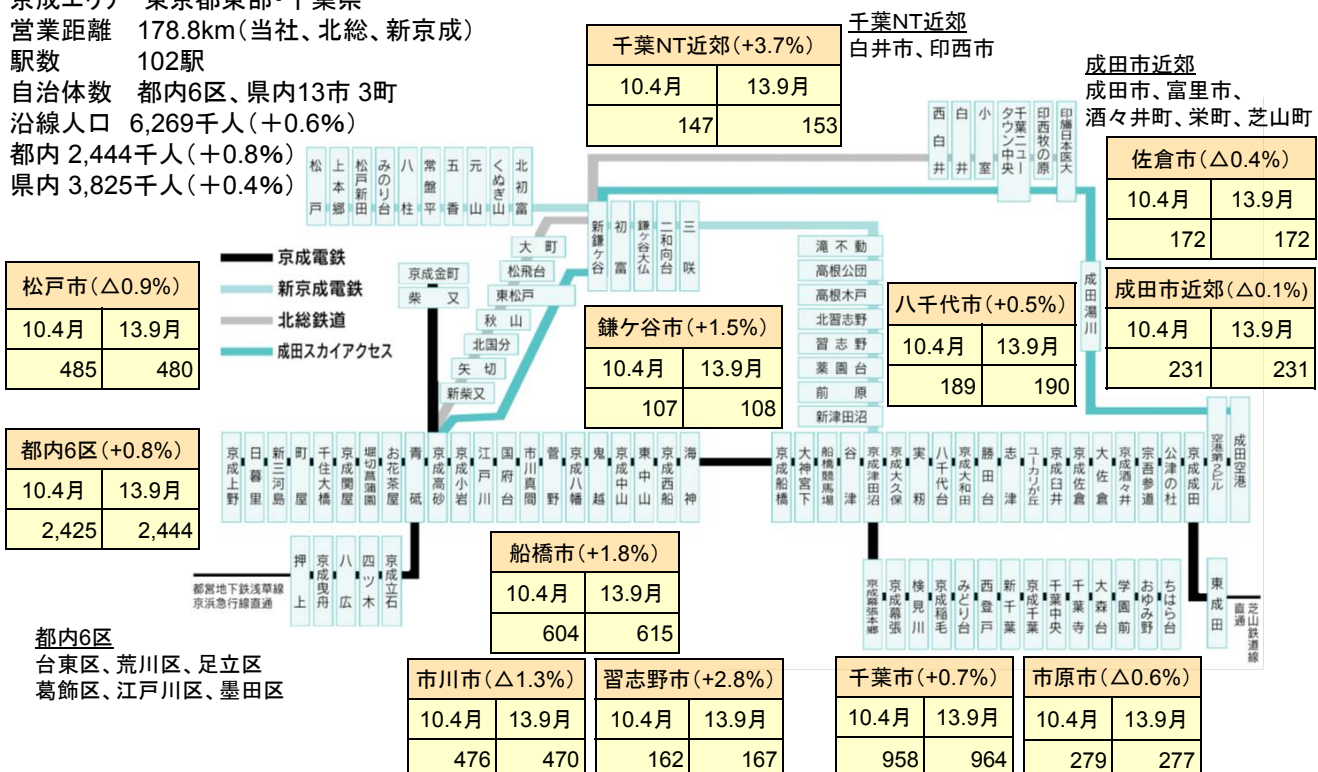
	札幌	旭川	仙台	新潟	小松	名古屋		大阪		広島	松山	米子	福岡	大分	鹿児島	那覇	石垣	合計
						中部	伊丹	関空										
2013年11月時点	14便	1便	2便	1便	2便	5便	4便	3便	2便	3便	就航予定	15便	3便	2便	7便	1便	65便	
2011年夏ダイヤ	5便	—	2便	—	2便	6便	4便	1便	2便	—	—	5便	—	—	2便	—	29便	

沿線人口の推移

◇2013年9月、2010年4月(前中期経営計画「E1プラン」初年度)比

単位:千人

京成エリア 東京都東部・千葉県
 営業距離 178.8km(当社、北総、新京成)
 駅数 102駅
 自治体数 都内6区、県内13市 3町
 沿線人口 6,269千人(+0.6%)
 都内 2,444千人(+0.8%)
 県内 3,825千人(+0.4%)



数値は自治体公表値による

本資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

<http://www.keisei.co.jp/keisei/ir/top.cgi>

本資料の情報のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、リスクや不確実性を含んだものです。

実際には様々な要因により異なる結果となる場合があることをご承知おきください。